

社会科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- 地図帳を活用して地図記号を確認したり、世界地図や日本地図を活用して地名クイズを行ったりすることで、知識の定着を図ることができた。
- 学習単元の終わりでは、新聞やパンフレット等にまとめて発表する活動を通して、学習内容の定着を図ることができた。

(2) 課題

- 八方位や等高線などの約束や、歴史上の人物名など社会的な用語や大切な言葉、キーワードなどを確実に覚え、その使い方や意味を正しく理解し、読み取ることに課題がある。
- 複数の資料を関連付けて読み取ることが難しく、読み取った内容を表現する点については苦手とする児童が多い。

2 観点ごとの実態、学習効果測定結果の分析

	3 年	4 年	5 年	6 年
知識・技能	・八方位や等高線、土地の使われ方について、資料や地図から情報を読み取ることが難しい。	・目標値を大きく下回っている。工場で働く人々の仕事についての理解が十分ではなく、誤答が多い。資料やグラフを読み取ることに課題がある。	・目標値を上回っている。都道府県の位置や名称、ダムや用水について理解することができている。	・目標値を下回っている。日本の農業や漁業について十分に理解できていない児童が多い。資料やグラフを読み取ることに課題がある。
思考・判断・表現	・大田区の様子で、自分が住んでいる地域以外の様子を捉え、場所による違いを考えたり表現したりすることが難しい。	・目標値とほぼ等しい。資料に着目して、警察の仕事や防火設備について考える力が付いた。	・目標値を上回っている。複数の資料に着目して関連性を捉えたり、判断したりする力が付いている。	・目標値を上回っている。資料に着目して理由を考える力が付いている。
主体的に学習に取り組む態度	・地図や写真を見比べたり、地図から探したりすることは興味をもって取り組む。 ・区内見学では、興味をもって調べ、まとめることができた	・目標値とほぼ等しい。主体的に取り組む態度については、無回答児童の割合が一部いて、正答率が低い領域である。	・目標値とほぼ等しい。主体的に取り組む態度については、無回答児童の割合が一部いて、記述問題で多く見られる。	・目標値を下回っている。主体的に取り組む態度については、無回答児童の割合が一部いて、正答率が低い領域である。

3 課題と授業の改善策

		3 年	4 年	5 年	6 年
課 題	知識・技能	・資料や地図に書かれている情報を読み取ること。 ・方位や土地の高さを意識すること。	・地図や資料から読み取る情報を増やすこと。 ・働く人々の仕事について学習した内容を正確に理解し知識として定着すること。	・都道府県の位置や特色、地球儀で地形の形や位置などについて基本的な知識を身に付けること。	・社会的な用語や、地名、位置、産業や工業の特色など、基本的な知識を身に付けること。
	思考・判断・表現	・白地図などを活用して、調べたことや分かったことを効果的にまとめたり表現したりすること。	・安全なくらしについて資料を読み取ったり、考えたりすること。 ・考えたことを言葉や文章で表現すること。	・資料に着目して、グラフや年表を読み取ったり、関連性を捉えて考えたりすること。	・日本の食糧生産が抱える問題に注目して事実を読み取ったり、関連性や背景を捉えて考察したり、記述したりすること。
	主体的に学習に取り組む態度	・自分自身の生活経験と社会的な事象を、つなげて捉えたり興味をもったりすること。	・調べた内容を進んで資料にまとめたり、発表したりすること。 ・問いをもって学習問題を解決する意欲を高めること。	・一人一人が提示された資料やグラフから問いをもって、主体的に学習問題を解決していこうとすること。	・複数の資料を読み取り、考えを自分の言葉で表現しようとする意欲を高めること。
授 業 の 改 善 策	知識・技能	・実際に見たり、話を聞いたりする活動を多く行い、体験に基づいた理解を図るようにする。 ・方位磁針を活用して方位を確かめる。	・資料を活用しながら情報を読み取る機会を授業内で多く作る。 ・資料から読み取ったことを全体で共有する。 ・タブレットを活用して振り返りを行い、学んだことを定着させる。	・授業の導入で、世界地図や日本地図を使って地図クイズをペアで行う。 ・地球儀で国を探す活動を多くとり、「東経」などの言葉を抑える。 ・単元終わりに毎回、学習内容を自分でまとめる時間をとる。	・授業の導入で、地図帳を活用した地名や時代の名前、歴史上の人物をクイズにして出し合うことで、知識の確実な定着を図る。 ・単元終わりに毎回、学習内容を自分でまとめる時間を取る。

	思考・判断・表現	・授業の中で、地図や写真を活用することで、読み取る力を高める。 ・白地図やグラフなどを効果的に活用してまとめる活動を行う。	・資料の着眼点を明確にし、内容を分類・整理したりする活動を取り入れる。読み取ったことや自分の考えをまとめて発表する活動を行う。	・明確な1時間のめあてをもたせ、資料や写真から分かることを調べる時間を確保し、自分の考えをまとめる活動を行う。	・授業で分かったことや学習問題の答えなどをノートやプリントにまとめる活動を徹底し、自分の考えを表現する力を伸ばす。
	主体的に学習に取り組む態度	・実際に見学したり体験したりすることで社会的な事象に対する関心を高め、調べたりまとめたりする活動に対する意欲を高める。	・社会的事象への関心、探求心が高まるよう、学習課題との出会いを大切にする。児童の疑問をもとに学びをすすめ、身近な事柄が社会的事象とつながっていることのおもしろさを味わえるようにする。	・資料提示を工夫して、児童主体で学習問題を作る。学習問題に対して学習の見通しをもたせることで、主体的に学習に取り組む態度を養う。	・政治の仕組みや働き、歴史人物、遺産について、インターネットや本で調べる学習を行い、主体的に取り組む態度を養う。